

令和4年度

敬老乗車証市民意識アンケート（若年層）

結果報告書

確報版

令和5年8月

健康福祉局高齢企画課

I. アンケートの概要

1. 実施目的

本アンケートは、敬老乗車証制度の持続的な運用のあり方を検討するにあたり、制度の対象年齢に満たない世代における制度への意識を把握することを目的とする。

2. 調査設計

調査対象者：仙台市内にお住いの20歳～59歳の市民

調査方法：調査対象者にウェブアンケートへの回答に係る依頼状を郵送し、回答いただくもの

調査期間：令和4年10月3日～令和4年10月23日

調査項目：調査対象者の属性（問1～4）

敬老乗車証制度について（問5～9）

高齢者福祉施策全体について（問10）

敬老乗車証制度への意見等について（自由記述）（問11）

3. 回収結果

発送数 2,500

回収数 695

回収率 27.8%

4. 報告書の見方

- (1) 表やグラフのnとは回答者数の合計を表すものであり、質問によって異なる場合がある。
- (2) 回答比率は百分率で表し、小数点第2位を四捨五入して算出している。従って、単一選択式の質問においては、回答比率を合計しても100%にならない場合がある。また、回答者が2つ以上の回答をすることができる複数選択式の質問においては、各設問の回答者数を基数として算出するため、全ての選択肢の比率を合計すると100%を上回る場合がある。
- (3) 複数選択式の質問については、回答数の合計がn（回答者数の合計）を上回る場合がある。

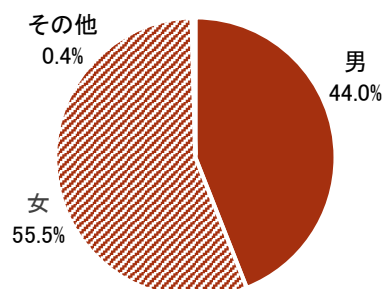
II. 調査項目ごとの集計結果

【回答者自身について】

問1. あなたの性別について、該当する番号に1つだけチェックをしてください。

回答	回答者数	割合
男	306	44.0%
女	386	55.5%
その他	3	0.4%

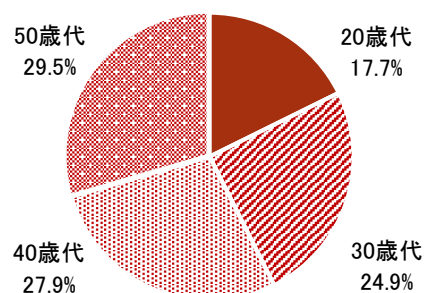
n= 695



問2. 回答日現在のあなたの年齢について、該当する番号に1つだけチェックをしてください。

回答	回答者数	割合
20歳代	123	17.7%
30歳代	173	24.9%
40歳代	194	27.9%
50歳代	205	29.5%

n= 695



問3. あなたの職業等について、該当する番号に1つだけチェックをしてください。

回答	回答者数	割合
自営業(家族従業の方を含む)	41	5.9%
会社員、団体職員等	398	57.3%
パート、アルバイト、非常勤等	120	17.3%
学生	29	4.2%
家事専業・無職	79	11.4%
その他	28	4.0%

n= 695

問4. 市政全般について、あなたが特に重要だと考える施策で、あてはまるものに3つまでチェックをしてください。

※3つまで選択可能

回答	回答者数	割合
市民生活・市民活動(市民協働・ボランティア等)	63	9.1%
防災・危機管理(防災・減災対策等)	388	55.8%
健康・福祉(生活困窮・障害者・高齢者・健康づくり・医療等)	420	60.4%
子育て・教育(子育て支援・いじめ対策・学都等)	436	62.7%
環境・杜の都・景観(資源循環推進・脱炭素社会等)	86	12.4%
産業・経済(企業誘致・雇用創出・起業支援等)	237	34.1%
文化・観光(歴史伝統・誘客推進・スポーツ振興等)	104	15.0%
都市開発・建設(道路整備・都心再整備・都市インフラ等)	231	33.2%
その他	11	1.6%

n= 695

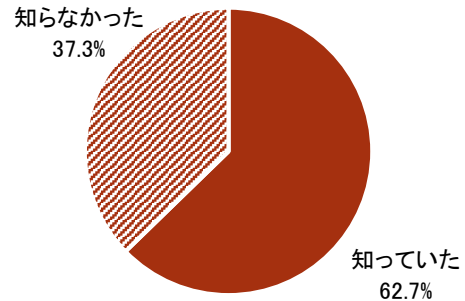
【敬老乗車証制度について】

問5. 同封の「調査へのご協力をお願い」をお読みになる前に、敬老乗車証制度についてどの程度ご存知でしたか。該当する番号すべてにチェックをしてください。

※「知っていた」の細目については複数回答可

回答	回答者数	割合
知っていた	436	62.7%
事業の名称	350	50.4%
制度の内容	219	31.5%
交付率や利用率	27	3.9%
事業費	18	2.6%
知らなかった	259	37.3%

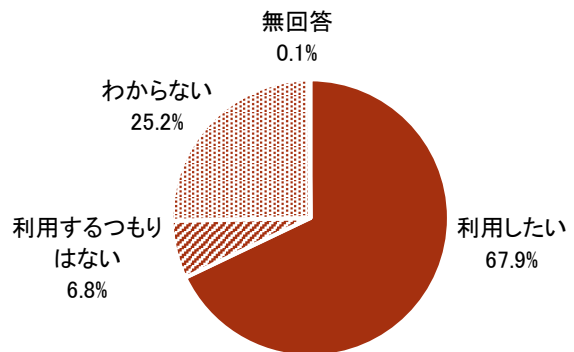
n= 695



問6. 将来、交付対象年齢（70歳）になったら敬老乗車証を利用したいと思いますか。

回答	回答者数	割合
利用したい	472	67.9%
利用するつもりはない	47	6.8%
わからない	175	25.2%
無回答	1	0.1%

n= 695



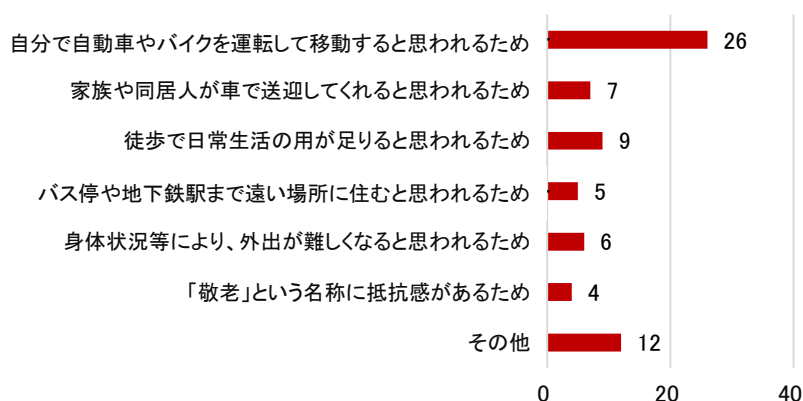
問7. 利用するつもりはない理由は何ですか。あなたの考えにあてはまる番号すべてにチェックをしてください。

※複数選択可能

回答	回答者数	割合
生活環境によるもの		
自分で自動車やバイクを運転して移動すると思われるため	26	55.3%
家族や同居人が車で送迎してくれると思われるため	7	14.9%
徒歩で日常生活の用が足りと思われるため	9	19.1%
バス停や地下鉄駅まで遠い場所に住むと思われるため	5	10.6%
個人の身体状況によるもの		
身体状況等により、外出が難しくなると思われるため	6	12.8%
制度の内容や利便性によるもの		
「敬老」という名称に抵抗感があるため	4	8.5%
その他	12	25.5%

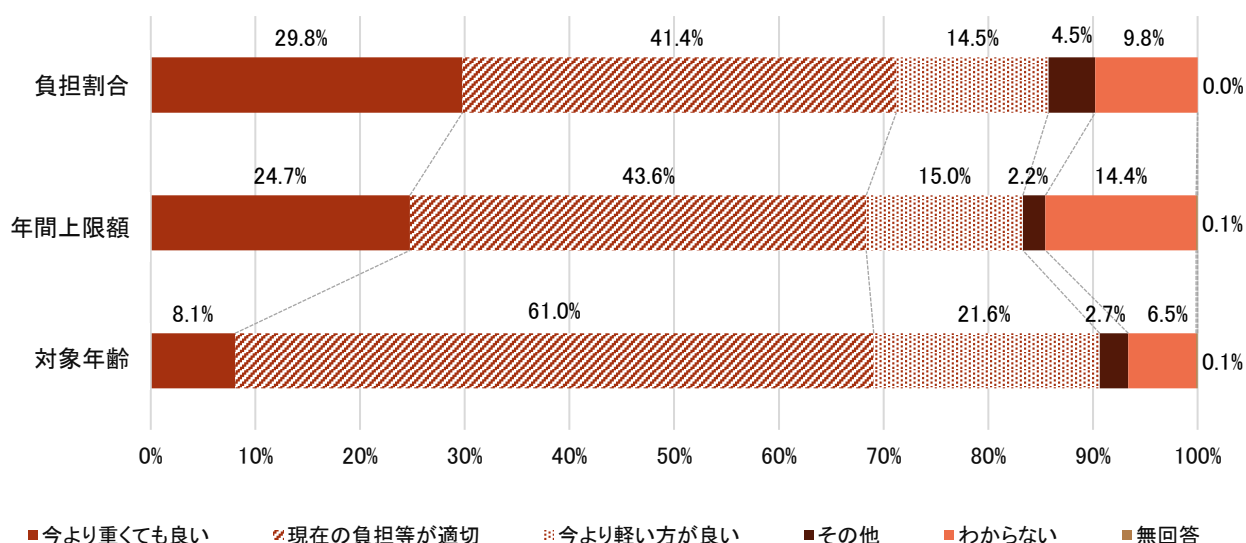
n= 47

将来利用するつもりはない理由 n=47



問8. 敬老乗車証制度の利用者の負担割合と年間利用上限額、対象年齢について、あなたが適切だと考えるものに○をつけてください。

回答	負担割合		年間上限額		対象年齢	
	回答者数	割合	回答者数	割合	回答者数	割合
今より重くても良い 負担割合増、上限額引下げ、対象年齢引上げ	207	29.8%	172	24.7%	56	8.1%
現在の負担等が適切	288	41.4%	303	43.6%	424	61.0%
今より軽い方が良い 負担割合減、上限額引上げ、対象年齢引下げ	101	14.5%	104	15.0%	150	21.6%
その他	31	4.5%	15	2.2%	19	2.7%
わからない	68	9.8%	100	14.4%	45	6.5%
無回答	-	-	1	0.1%	1	0.1%
合計	695		695		695	



問9. 敬老乗車証制度を利用することで、どのような効果があると思うか、あなたの考えにあてはまるものいずれかにチェックをしてください。

(1) 高齢者の社会参加を促す効果

回答	回答者数	割合
高いと思う	337	48.5%
低いと思う	144	20.7%
わからない	213	30.6%
無回答	1	0.1%

n= 695

(2) 高齢者の外出を促す効果

回答	回答者数	割合
高いと思う	540	77.7%
低いと思う	85	12.2%
わからない	70	10.1%
無回答	-	-

n= 695

(3) 高齢者の消費を促す効果

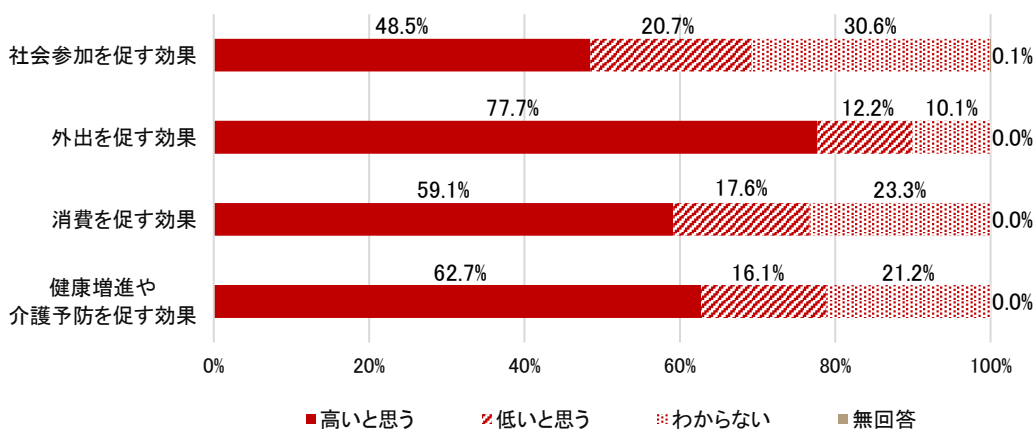
回答	回答者数	割合
高いと思う	411	59.1%
低いと思う	122	17.6%
わからない	162	23.3%
無回答	-	-

n= 695

(4) 高齢者の健康増進や介護予防を促す効果

回答	回答者数	割合
高いと思う	436	62.7%
低いと思う	112	16.1%
わからない	147	21.2%
無回答	-	-

n= 695



【高齢者福祉施策全体について】

問 10. あなたが、現在の高齢者福祉施策の中で特に重要だと思うもので、あてはまるものに3つまでチェックをしてください。

※3つまで選択可能

回答	回答者数	割合
介護予防・認知症対策等(介護予防教室、認知症予防等)	397	57.1%
日常生活の在宅支援(配食、見守り、移動販売、介護用品の提供等)	354	50.9%
自宅における訪問介護(ホームヘルパー、訪問介護等)	293	42.2%
施設における介護(デイサービス、特別養護老人ホーム等)	251	36.1%
就労の機会の提供(シルバー人材センター、生涯現役促進等)	244	35.1%
生きがいづくりや交流の場の提供(老人福祉センター、老人憩の家等)	225	32.4%
社会参加の促進(敬老乗車証、老人クラブへの支援等)	147	21.2%
その他	16	2.3%

n= 695

問 11. 敬老乗車証制度について、ご意見・ご要望があれば、自由に記入してください。

自由記述の分類(※一人が複数分類にまたがる記述をしている場合は、それぞれの分類にカウント)

回答分類	回答者数
1. 制度を存続するために利用者負担等を増加すべき、増加を許容する	64
2. 利便性向上を求める意見	36
3. 免許返納に関連した意見	31
4. 若年世代への配慮や不公平感	28
5. 現状のまま継続してほしい	15
6. 公共交通や地域交通の運行等についての意見	10
7. 利用者負担等を軽減し制度を存続してほしい	7
8. 制度の廃止を検討すべき	6
9. 感想・その他	91

n= 254

1. 制度を存続するために利用者負担等を増加すべき、増加を許容する

- ・ 高齢者は移動手段が限られてくると思われ、制度は継続したほうが良いと思います。ただ現行の負担割合では財政的に厳しくなる一方なので、思い切って引き上げるべきではないでしょうか。負担割合が高ければ、「近場は徒歩で」を意識して、健康増進にもつながると思います。
- ・ 仙台駅に行きたくても地下鉄の運賃が高いため躊躇してしまうことがあるのに、高齢者は1割負担というのは格差が大きすぎると思う。その負担を少しでも多くして全体的に運賃を下げることはできないのかと思う。例えば、要介護ではない一般的な70歳以上は5割、80歳以上は3割、90歳以上と要介護の高齢者は1割と年齢によって負担額を変えるべきだと思う。70代で働いている人も大勢いる時代に1割負担は時代錯誤だと考える。いずれはこの制度を使いたいと考えてはいるが、高齢化社会の現状を考えて、負担額と適用年齢を見直しても良いのではないかと。

2. 利便性向上を求める意見

- ・ チャージができる場所が限られていて利用しづらい。

- ・ JRの利用を選択できるようにして欲しい。

3. 免許返納に関連した意見

- ・ 高齢者の自動車運転が課題になっており、免許の返納を乗車証の交付条件にしてもいいと思います。
- ・ 自動車運転免許を返納した場合は、その方の負担を半額以下にするなどもっと利用したいと思う制度にしていきたい。

4. 若年世代への配慮や不公平感

- ・ 高齢者支援は必要だと思うが財政の負担が今後大きくなることを考えると、負担割合や上限金額に見直しが必要だと思う。もう少し子育て世代への支援を充実させて欲しい。少子化対策や子育て世帯への支援が拡充しないまま高齢者支援だけが充実していくようでは、今後子供を産み育てたいと思えない。
- ・ 持続的に継続するならば対象者の負担も増やすべき。高齢化社会において、若年層の負担が増すばかりでは制度として疑問が残る。

5. 現状のまま継続してほしい

- ・ コロナ禍で財政難が心配です。無理のない範囲で利用者にも負担して頂き、制度を続ける事が望ましいと思います。
- ・ 車も自動化していく中ですが、高齢者の操作が誰もができるかということそうでもないかもしれないので、やはり、移動は公共機関に頼るようになると思います。高齢者がこれから増えていく中で、現状維持くらいが持続できる範囲ではとも感じました。

6. 公共交通や地域交通の運行等についての意見

- ・ 高齢者による運転事故防止と免許返納促進のため、バス・地下鉄のある都市部だけでなく、デマンド交通やタクシー、シェアライド等への拡充をぜひ進めて下さい。

7. 利用者負担等を軽減し制度を存続してほしい

- ・ 対象年齢を下げ、意欲とお金があるうちに活用していただいた方が目的の効果が出るのではと考えます。

8. 制度の廃止を検討すべき

- ・ 敬老乗車証制度について、持続的に運用していくことを前提に検討しているように見えるが、他の自治体のように廃止することも含め、費用対効果を勘案し、検討いただきたい。

9. 感想・その他

- ・ この制度は高齢者の行動範囲が広がる大事な制度。健康な老後を過ごすには、自分で気軽に外出できることは必須だと思う。
- ・ 老人の交通事故(運転ミス等で)のニュースを見るたびこのような制度は必要であると本当に思います。仙台市のように交通網がある地域では利用価値もありますし…。